



埴町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、国内外で甚大な自然災害が頻発しています。本町においても、強力な台風や集中豪雨により浸水被害が発生するなど、町民生活に大きな影響が及んでいます。このまま地球温暖化に歯止めがかからなければ、気候変動リスクはさらに高まり、一層大きな災害が起こることが懸念されています。

地球温暖化を抑制し、気候変動リスクを低減するためには、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量削減に取り組む必要があります。2018年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書において「地球の平均気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

そのためには、地球温暖化の問題について、私たち一人ひとりが強い危機感を持つとともに、問題解決の当事者であることを自覚し、環境に配慮した取り組みを進め、地域社会や地球が直面する課題を克服していく必要があります。

町面積の80%を森林が占める自然環境が豊かな埴町は、山（さん）・水（すい）・花（か）を町の財産として、守り育てる施策を展開してきました。埴町は、このかけがえのない財産を将来世代に引き継ぐために、町民、事業者、地域、行政が力をあわせて、町の財産を生かしながら、地球温暖化対策と地域経済の好循環を推進することにより、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロのまち」の実現に向けて、全力で取り組むことをここに宣言します。

令和5年8月7日

埴町長 宮田 秀利